

令和3年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

①豊かな心をはぐくむ教育の推進

<p>1 一人一人の児童生徒の尊重</p> <p>学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。</p>	<p>2 友達への思いやり</p> <p>子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。</p>	<p>3 道徳・心の教育の充実</p> <p>学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）</p>
---	--	---

【学校から】[1]保護者と児童の肯定的評価の割合が昨年度から7%以上上がり、ほとんどの保護者や児童から高評価を得ている。今年度はきずなアンケートを改善し、児童の悩み等をより早く把握するよう努めるとともに、日頃の人権教育の取り組み等を通して、児童一人一人が安心して学習や生活ができる環境づくりに努めているところである。[2]児童も保護者も肯定的評価の割合が昨年度とほぼ変わりなく高い。児童間のちょっとしたトラブルはあるが、児童同士の交友関係は良好だと言える。今後も職員全体で注視していく。[3]保護者の肯定的評価が昨年度から2%増えている。新型コロナの影響で道徳の公開授業はできなかったが、親子道徳の日の取り組みで家庭との連携に努めた結果だと言える。今後も教育活動全体でさらに道徳教育の充実を図っていく。

②確かな学力を育む教育の推進

<p>4 意欲的な学習態度</p> <p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p>	<p>5 授業力向上</p> <p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p>	<p>6 タブレット活用</p> <p>子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。</p>
--	---	---

【学校から】[4]児童の肯定的評価が9%、保護者の肯定的評価が3%上昇し、児童の学習意欲が高まっていることがわかる。主体的・対話的で深い学びを目指した授業実践が児童の意欲向上につながっていると見える。今後は、学習内容の理解に時間がかかる児童に対して、個に応じた指導を更に推進し、更なる意欲付けに努めていく。[5]児童の肯定的評価が8%、保護者の肯定的評価が5%上昇し、わかる授業づくりとICTの効果的な活用した授業改善の取り組みが児童や保護者に浸透している結果と捉えている。今後もさらにICTを有効活用し、児童が授業内容を十分理解できるよう、わかりやすい授業づくりを推進していく。[6]児童も保護者も肯定的評価が95%ほどあるので、児童のタブレット端末活用が十分できていると言える。ただ、活用があまりできていない児童も6%ほどいるので、すべての児童がタブレットを有効なツールとして活用できるよう引き続き研究を推進していく。

③健やかな体を育む教育の推進

<p>7 健康づくり</p> <p>子どもは、好き嫌いをなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。</p>	<p>①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実</p>	<p>8 児童生徒理解</p> <p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとしていますか。</p>
---	--------------------------------------	---

【学校から】児童や保護者の肯定的な評価の割合はほとんど変わっていないが、教職員の自己評価はかなり良くなっている。新型コロナウイルス感染症対策を含めて基本的な生活習慣を家庭と連携して推進できたこと、体育の授業や休み時間等を利用してできる限り体力の増進に努めたことを評価した結果だと言える。ただ、肥満、視力低下、睡眠時間の確保、メディアと接する時間を取り過ぎていることなど健康課題を抱えている児童も少なくはなく、今後も保健だよりや学校だより等で啓発し、懇談会や面談等で保護者との連携をより充実させながらさらなる改善に努めていきたい。

【学校から】[8]保護者5%、児童9%と肯定的な評価の割合が上がっている。授業などの学校生活の中で教職員が一人一人のよさを認める指導が児童に伝わっているものと思われる。また、学級通信等で保護者に思いを伝えていくことで家庭との連携もおおむね取れていると思われる。今後は子どもたち一人一人と向き合う時間の確保に努め、児童理解にさらに努めていく。

④いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実

<p>9 いじめや問題への対応</p> <p>学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。</p>

【学校から】[9]保護者9%、児童5%と肯定的な評価の割合が上がっている。これは、きずなアンケートを改善し、いじめをいち早く把握するよう努めたことも成果としてあるが、いじめや問題行動に対して担任を始め複数の教職員で迅速に対応できたことが評価されていると考えられる。今後もいじめを許さない学校の姿勢をさらに子どもや保護者へ周知するとともに、いじめや生徒指導上の問題があったときに迅速かつ組織的に対応するよう努めていく。

⑤特別支援教育の推進

<p>10 学校の支援体制</p> <p>学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。</p>	<p>11 共生社会を担う人材の育成</p> <p>「交流及び共同学習」等の実施は、相互理解の促進につながっていると思いますか。</p>
---	---

【学校から】[10]保護者の評価は昨年度とほとんど変わらず、90%以上の肯定的な評価を得ている。これは、支援が必要な児童の保護者と担任を中心としてしっかりと連携を図れた結果だと言える。今後も校内での支援体制の充実を測り、引き続き組織的に取り組んでいく。[11]保護者95%、児童93%の肯定的な評価を得ており、これまで本校が行ってきた交流及び協働学習は十分な成果を出しているといえる。今後も全校でインクルーシブ教育の推進に努め、さらなる交流、協働学習に充実に努めていく。

①子どもたちの身近な安全対策の充実		②最適な学習環境の整備																	
12 安全と事故防止 学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。	13 施設・設備の安全管理 学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。	<table border="1"> <caption>12 安全と事故防止の肯定的評価割合</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>肯定的評価割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>12%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	肯定的評価割合	保護者	2%	児童	12%	教職員	100%	<table border="1"> <caption>13 施設・設備の安全管理の肯定的評価割合</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>肯定的評価割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>12%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	肯定的評価割合	保護者	2%	児童	12%	教職員	100%
対象者	肯定的評価割合																		
保護者	2%																		
児童	12%																		
教職員	100%																		
対象者	肯定的評価割合																		
保護者	2%																		
児童	12%																		
教職員	100%																		
【学校から】[12]保護者の肯定的な評価が2%増加している。これは昨年度臨時休業で遅れた登校班の指導や縦割り班の活動が今年度はスムーズにスタートできことや、PTAとの連携及び必要情報等の保護者への周知などが適切にできていることなどが理由として考えられる。今後も、子どもたちに安全に登下校する意識を持たせるとともに、引き続きPTAや地域諸機関等と密に連携して児童の安全確保に努めていきたい。	【学校から】[13]保護者の肯定的な評価が2%増加している。今年度は学級園や体育館周りの整備を積極的に行ったことや学校主事を中心として施設の補修や樹木の剪定を定期的に行っていることが評価されたのではないかと考えられる。ただ、校舎の老朽化で要修繕の箇所がまだまだあり、修繕が間に合わない状況のため、雨漏りや漏電等がある。今後も毎月の安全点検をしっかりと行いとともに、できる限りの環境整備に努めていきたい。																		

③家庭・地域社会との連携強化																	
14 教育方針・目標の理解 学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者、地域にわかりやすく示していると思いますか。	15 家庭や地域との連携協力 学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。																
<table border="1"> <caption>14 教育方針・目標の理解の肯定的評価割合</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>肯定的評価割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>12%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	肯定的評価割合	保護者	5%	児童	12%	教職員	100%	<table border="1"> <caption>15 家庭や地域との連携協力の肯定的評価割合</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>肯定的評価割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>12%</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>12%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	肯定的評価割合	保護者	12%	児童	12%	教職員	100%
対象者	肯定的評価割合																
保護者	5%																
児童	12%																
教職員	100%																
対象者	肯定的評価割合																
保護者	12%																
児童	12%																
教職員	100%																
【学校から】[14]保護者の肯定的な評価が5%増加した。ホームページをほぼ毎日更新し、学校便り等で機会あるごとに教育方針・目標を伝えてきた成果だと言える。今後も安心メールや学校ホームページ等を有効活用し、保護者へ学校の方針を知ってもらう努力を続けていきたい。[15]保護者の肯定的な評価が12%も増加した。コロナ禍の中、運動会や授業参観等感染症対策を講じながら学校行事をなるべく制限しなかったこと、PTAと連携して可能な限りPTA活動も行ってきたこと、またそれを保護者、地域に学校ホームページや安心メール等で発信していったことが成果として考えられる。今後もしっかりと感染症対策を行いながら、できる限りの工夫を行いながら学校と家庭や地域が連携・協力する機会を増やすように努めていく。																	

0																										
16 情豊かな教育の実践 子どもたちは、「元氣な、心こもったあいさつ」ができていますか。	17 確かな学力の育成 子どもたちは、家庭学習ができていますか。	18 教育環境の充実 子どもたちは、掃除に熱心に取り組んでいると思いますか。																								
<table border="1"> <caption>16 情豊かな教育の実践の肯定的評価割合</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>肯定的評価割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>12%</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	肯定的評価割合	保護者	12%	児童	100%	教職員	100%	<table border="1"> <caption>17 確かな学力の育成の肯定的評価割合</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>肯定的評価割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	肯定的評価割合	保護者	100%	児童	100%	教職員	100%	<table border="1"> <caption>18 教育環境の充実の肯定的評価割合</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>肯定的評価割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>14%</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	肯定的評価割合	保護者	14%	児童	100%	教職員	100%
対象者	肯定的評価割合																									
保護者	12%																									
児童	100%																									
教職員	100%																									
対象者	肯定的評価割合																									
保護者	100%																									
児童	100%																									
教職員	100%																									
対象者	肯定的評価割合																									
保護者	14%																									
児童	100%																									
教職員	100%																									
【学校から】[16]児童の肯定的な評価の割合が12%増加し、教職員の肯定的な評価が100%程である結果から、学校での児童のあいさつは格段に良くなっているといえる。保護者の肯定的な評価がほぼ変わらなかったことから、今後はあいさつの輪を家庭、地域に広げていけるよう連携して取り組みたい。[17]教職員100%、児童5%、保護者3%の肯定的な評価が増加した。これまで学習習慣を身に付けることができるよう、ICTの活用や家庭との連携をしながら児童の意欲喚起を行った結果だと考えられる。今後も、児童が主体的に家庭学習の習慣を身につけるよう組織的に推進していく。[18]教職員肯定的な評価が14%増加した。児童の肯定的な評価はわずかながら減少しているが、日常の掃除の様子を見ている限り、児童の掃除の態度は良くなっている。今後は、見つけ掃除など、自分たちで考え、より主体的に掃除に取り組めるような工夫を行っていくことで質的な向上が期待できる。保護者の肯定的な評価の割合は5%増加し、家庭でお手伝いをしている児童が昨年度に続いて増えている。学校で身につけてきた掃除の態度が家庭でも子どもたちの主体的な態度として表れているのはうれしい限りである。今後も家庭と連携をとりながら、児童の主体的な奉仕活動の推進を図りたい。																										

来年度の具体的な取り組みについて
<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止による制限のある中、授業参観や学校行事を可能な限り実施し、オンラインを活用する等保護者が児童の様子を見る機会を作ることができた。今後も、保護者や地域の意見を汲みながら、学校と家庭、地域との情報共有を図り、連携の強化に努めていきたい。 ○挨拶や掃除の定着については飛躍的な改善が見られたので、今後は更なる高みを目指して、児童自身の自発的な態度を育成するよう特別活動の更なる充実に努めたい。 ○学校の方針を伝える際に、学校ホームページ、学校便り、紙文書、安心メール等を効果的に活用してきた。今後も保護者に迅速かつ正確に情報発信が出来るよう情報伝達の環境をさらに整備し、より開かれた学校づくりを行っていく。 ○基本的な生活習慣の定着については全体的に改善が見られたが、まだ十分でない児童が見られる。また、肥満児の増加、睡眠時間の確保、視力低下等の健康課題もあるので、学校と家庭が密に連携し改善に取り組んでいきたい。 ○いじめなどの問題行動があった際に、迅速かつ適切な対応を心掛けて取り組んでいる。今後さらに生徒指導の組織的対応を充実させるとともに、保護者との連携を強化し児童の健全育成に努めていきたい。 ○登下校の安全面に関しては、登校班の見直しを含めた登下校の在り方を保護者と考えていくとともに、保護者・地域に協力を求めて児童の安全確保に努めたい。 ○新型コロナウイルス感染症等を予防するために、これまでどおり手洗い、マスク着用、消毒、換気の徹底、睡眠時間の確保、栄養管理等基本的な生活習慣の確立を図り、今後のコロナ対応に関し、最新の情報をもとに先を見越した最善の対応がとれるよう心がけていきたい。

学校関係者評価
<ul style="list-style-type: none"> ○ICTを活用し、児童が意見をタブレットに書き込んで共有することや大人の意見を聞いて考える取り組みをされていた。学習環境を変化させながら、ICTを効果的に活用され、児童が主体的、対話的で深い学びを実践していたことに驚いた。 ○学校外でも児童がよく挨拶をしている。家庭での躰もさることながら、学校での指導も行き届いていると感じている。 ○いじめ防止については、先生方のきめ細やかな配慮があり、即座に動いていただいているので、大きくなる前に防止できている。先生方の指導に感謝している。 ○体力低下に関しては、体育の時間以外に児童が苦手な運動ができる機会があればと思う。週1回の総合運動部等の検討をお願いしたい。 ○新型コロナウイルス感染症の感染拡大により学校行事等が制限される中、感染予防対策を行いながら、行事を遂行したことが大変良かった。中でも、運動会は保護者の参観ができなかったが、その場にいる臨場感を職員が演出されたことに感謝している。新型コロナウイルス感染症は先の見えない問題であるが、今後も感染拡大防止に十分配慮しながら、行事等をなるべく中止することなく行ってもらいたい。